

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 日本ビジネスシステムズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5036 URL <https://www.jbs.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）牧田 幸弘
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 CFO （氏名）勝田 耕平 TEL 03 (6778) 7336
半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 2025年6月16日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	62,690	16.2	4,507	79.8	4,477	81.3	3,071	729.3
2024年9月期中間期	53,937	15.7	2,507	13.4	2,470	13.9	370	△74.1

（注）包括利益 2025年9月期中間期 3,072百万円（645.5%） 2024年9月期中間期 412百万円（△71.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	67.37	64.58
2024年9月期中間期	8.13	7.75

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	69,362	25,215	36.4
2024年9月期	60,949	22,735	37.3

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 25,215百万円 2024年9月期 22,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2025年9月期	—	17.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	18.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	17.1	7,500	63.3	7,300	59.1	5,000	230.1	109.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年5月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期中間期	48,366,400株	2024年9月期	48,366,400株
2025年9月期中間期	2,773,305株	2024年9月期	2,775,605株
2025年9月期中間期	45,592,452株	2024年9月期中間期	45,576,425株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年10月1日～2025年3月31日)における国内経済は、世界経済の不確実性の影響を受けて先行き不透明な状況が続いております。また、米国における新政権発足以降の政策動向、金融資本市場の変動等には警戒感が広がっております。一方で、雇用・所得環境の改善及び堅調な企業業績を背景とした設備投資の持ち直しにより、底堅い設備投資計画が示されており、IT投資需要の更なる増加が期待されています。

このような経済環境のもと、国内IT市場においては、労働人口の減少傾向や業務効率化ニーズを背景に、幅広い業種にわたり、各企業のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は引き続き旺盛で、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的としたIT投資需要が活況に推移しました。さらに、各クラウドベンダー及びメーカーは生成AIに対する開発を加速させており、今後、様々な分野でクラウド技術やクラウドサービスの活用が進んでいくことが期待されています。

当社グループにおいては、市場拡大が続くパブリッククラウド市場において、マイクロソフト製品を中心に、価値のデザインから構築、利活用促進までを一気通貫で担えるソリューション提供力を強みに、大手エンタープライズとの直接取引によって事業拡大を実現してまいりました。当社の強みであるマイクロソフトライセンス提供を通じて広がっている顧客基盤をクラウドインテグレーション及びクラウドサービスにつなげるため、製販一体の事業横断でのサービス提供の強化を加速し、クラウド利活用推進や重点顧客に対する支援体制を充実させることで、新たな案件を創出しております。また、当社が強みとしている情報インフラ基盤における支援の充実を図るとともに、顧客企業のビジネス課題や業務課題に寄り添ったソリューション提供により、顧客のクラウド効果最大化の実現及び当社の持続的な事業成長につなげてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は62,690百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益は4,507百万円(同79.8%増)、経常利益は4,477百万円(同81.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3,071百万円(同729.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績(売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は次の通りであります。

(クラウドインテグレーション事業)

当中間連結会計期間は、製販一体の体制を通じた顧客深耕が進んだことによる顧客一社当たりの売上及び顧客単価が上昇したことに加え、前期から開発スケジュールに変更があった案件や子会社である株式会社ネクストスケープの収益性の改善が進んだ結果、売上高は14,151百万円(前年同期比21.6%増)、セグメント利益は2,982百万円(同85.9%増)となりました。

(クラウドサービス事業)

当中間連結会計期間は、他の事業での案件を通じたクラウドサービス事業への継続的な支援の増加に加え、既存顧客との契約拡大などにより着実に案件が増加した結果、売上高は10,629百万円(前年同期比17.6%増)、セグメント利益は1,625百万円(同8.6%増)となりました。

(ライセンス&プロダクツ事業)

当中間連結会計期間は、顧客企業のクラウド活用促進により既存顧客に対するライセンス販売のアップセル及びクロスセルが進んだことに加え、大口案件などにより物販の販売が好調に推移した結果、売上高は37,903百万円(前年同期比14.0%増)、セグメント利益は1,497百万円(同52.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 財政状態

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて6,229百万円増加し、36,668百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が8,158百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べて2,183百万円増加し、32,693百万円となりました。これは主に、有形固定資産が2,011百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べて8,412百万円増加し、69,362百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて6,964百万円増加し、29,451百万円となりました。これは主に、買掛金が3,748百万円、短期借入金が2,601百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べて1,031百万円減少し、14,695百万円となりました。これは主に、長期借入金1,094百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて5,932百万円増加し、44,146百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて2,480百万円増加し、25,215百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2,478百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は36.4%（前連結会計年度末は37.3%）となりました。

② キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比べて235百万円増加し、3,601百万円となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が209百万円増加し、現金及び現金同等物に係る換算差額により25百万円増加したことによるものです。

なお、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1,885百万円の増加（前年同期は1,583百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前中間純利益4,474百万円、仕入債務の増加額3,748百万円、前渡金の減少額1,811百万円による増加があった一方で、売上債権及び契約資産の増加額8,158百万円による減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2,590百万円の減少（前年同期は2,356百万円の減少）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出2,393百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、914百万円の増加（前年同期は922百万円の減少）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額2,601百万円による増加があった一方で、長期借入金の返済による支出1,094百万円、配当金の支払額592百万円による減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の連結業績予想については、本日(2025年5月13日)公表いたしました「2025年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載させていただきました通り、足元の事業環境は好調に推移しており、2025年9月期上期連結業績は前年同期を大幅に上回る推移となっております。IT業界の変化は急速であることに加え、世界経済の不透明感が高まっていることから、今後の見通しは慎重に見極める必要があるものの、顧客企業のDX需要は旺盛であり、当社として顧客期待に対して相応に対応できる体制強化が進んでいることから、通期業績予想を上方修正いたしました。

なお、業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 150,000	百万円 5,700	百万円 5,500	百万円 3,700	円 銭 81.16
今回修正予想 (B)	165,000	7,500	7,300	5,000	109.67
増減額 (B - A)	15,000	1,800	1,800	1,300	
増減率 (%)	10.0	31.6	32.7	35.1	
(ご参考) 前期実績 (2024年9月期)	140,858	4,593	4,587	1,514	33.23
前年同期比増減率 (%)	17.1	63.3	59.1	230.1	

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,366	3,601
受取手形、売掛金及び契約資産	17,911	26,069
棚卸資産	1,809	1,855
その他	7,541	5,348
貸倒引当金	△189	△206
流動資産合計	30,439	36,668
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,382	13,190
土地	9,570	9,570
その他(純額)	1,286	3,491
有形固定資産合計	24,240	26,252
無形固定資産		
その他	304	236
無形固定資産合計	304	236
投資その他の資産		
その他	5,995	6,205
貸倒引当金	△30	△0
投資その他の資産合計	5,965	6,205
固定資産合計	30,510	32,693
資産合計	60,949	69,362
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,852	10,600
短期借入金	3,800	6,401
1年内返済予定の長期借入金	2,188	2,188
未払法人税等	1,561	1,605
賞与引当金	1,926	1,993
受注損失引当金	17	101
その他	6,140	6,560
流動負債合計	22,486	29,451
固定負債		
長期借入金	13,388	12,294
役員退職慰労引当金	380	395
修繕引当金	236	274
資産除去債務	1,720	1,729
その他	0	0
固定負債合計	15,727	14,695
負債合計	38,213	44,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	539	539
資本剰余金	8,651	8,652
利益剰余金	13,601	16,080
自己株式	△296	△296
株主資本合計	22,496	24,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238	239
その他の包括利益累計額合計	238	239
新株予約権	0	0
純資産合計	22,735	25,215
負債純資産合計	60,949	69,362

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年10月1日 至2025年3月31日)
売上高	53,937	62,690
売上原価	46,869	53,342
売上総利益	7,067	9,348
販売費及び一般管理費	4,560	4,841
営業利益	2,507	4,507
営業外収益		
持分法による投資利益	43	3
為替差益	—	23
保険解約返戻金	40	5
その他	34	69
営業外収益合計	119	101
営業外費用		
支払利息	32	72
為替差損	98	—
投資事業組合運用損	3	35
その他	22	22
営業外費用合計	156	130
経常利益	2,470	4,477
特別利益		
固定資産売却益	3	—
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
減損損失	1,720	—
固定資産除却損	0	3
その他	—	0
特別損失合計	1,720	3
税金等調整前中間純利益	752	4,474
法人税等	382	1,402
中間純利益	370	3,071
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	370	3,071

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年10月1日 至2025年3月31日)
中間純利益	370	3,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	0
その他の包括利益合計	41	0
中間包括利益	412	3,072
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	412	3,072
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年10月1日 至2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	752	4,474
減価償却費	321	562
減損損失	1,720	—
のれん償却額	114	—
持分法による投資損益(△は益)	△43	△3
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	32	72
為替差損益(△は益)	69	△43
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△4,294	△8,158
棚卸資産の増減額(△は増加)	△823	△45
前渡金の増減額(△は増加)	△34	1,811
前払費用の増減額(△は増加)	205	517
仕入債務の増減額(△は減少)	5,050	3,748
未払金の増減額(△は減少)	148	△69
契約負債の増減額(△は減少)	△1,599	△484
未払消費税等の増減額(△は減少)	△125	911
その他	254	4
小計	1,741	3,288
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△32	△75
保険解約返戻金	40	5
法人税等の支払額	△174	△1,348
その他	—	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583	1,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,210	△2,393
投資有価証券の取得による支出	△73	△206
投資有価証券の売却による収入	39	45
敷金及び保証金の差入による支出	△43	△73
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	33
その他	△69	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,356	△2,590
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	2,601
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△769	△1,094
配当金の支払額	△455	△592
自己株式の純増減額(△は増加)	2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△922	914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△71	25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,767	235
現金及び現金同等物の期首残高	5,345	3,366
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,578	3,601

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

〔法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準〕等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,633	9,036	33,261	53,931	6	—	53,937
セグメント間の内部売 上高又は振替高	13	—	20	34	—	△34	—
計	11,646	9,036	33,282	53,965	6	△34	53,937
セグメント利益	1,604	1,496	983	4,083	3	△1,579	2,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,579百万円には、のれんの償却額△114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,465百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの減損損失を計上したため、当中間連結会計期間においてのれんが1,720百万円減少しております。

なお、資産については、事業セグメントに配分しておりません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	クラウド インテグレ ーション	クラウド サービス	ライセンス &プロダク ツ	計			
売上高							
外部顧客への売上高	14,151	10,629	37,903	62,684	5	—	62,690
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11	—	18	29	—	△29	—
計	14,162	10,629	37,921	62,713	5	△29	62,690
セグメント利益	2,982	1,625	1,497	6,105	3	△1,601	4,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,601百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,612百万円、セグメント間取引消去11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。